

## 旧八幡郵便局

1921年に完成した旧八幡郵便局の建物は、アメリカ生まれの建築家、宣教師、実業家で、生涯の大半を近江八幡で過ごしたウィリアム・メレル・ヴォーリズ（1880-1964）の設計によるものである。ヴォーリズの設計は、日本風とスペイン風コロニアルスタイルの折衷的なもので、この組み合わせは、その後の彼の作品に頻繁に取り入れられることになる。建物は1961年まで郵便局として使用されていたが、数十年間は荒廃していた。1997年に設立された地元のNPO法人「一粒の会」が介入し、建物の再生に尽力した。

旧八幡郵便局は現在ギャラリーやイベントスペースとして利用され、土日祝日の午前11時から午後5時まで一般開放されている。郵便局当時のカウンターが保存されている1階には小さなカフェがあり、2階の電話交換室は展示やイベントに利用されている。